

令和8年6月 市議会定例会

令和8年度一般会計補正予算を可決

平塚市議会は、令和8年6月5日から6月30日まで、26日間の会期で6月定例会を開催しました。今定例会では、市長提出議案として、令和8年度一般会計補正予算や条例の一部改正、人事案件など24案件が提出され、審議の結果、全ての議案を原案どおり可決、同意しました。

また、議員から意見書提出に関する1件の会議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決しました。

※議案と審議の結果は7面に掲載しています。

への繰出金を増額しました。

農林水産業費では、令和3年度に発注した平塚漁港左岸導流堤の機能保全工事に係る和解金などを計上しました。

消防費では、県補助金の計上に伴い、財源充当の補正をしました。

教育費では、栄養教諭の働き方改革を推進するため、県の補助金を財源とした給食管理システムの改修経費を計上しました。また、図書館事業のための指定寄附金や助成金を活用して、ブックスタート事業の充実や移動図書館車の更新経費が計上されました。さらに、社会教育のための指定寄附金を活用して、博物館開館50周年記念事業などで使用する展示ケースの購入費が計上されました。

◆和解契約の締結について可決

令和3年度に発注した平塚漁港左岸導流堤の機能保全工事の和解契約を締結することについて、地方自治法の規定により議会の議決を求めるため、提案されました。

常任委員会では、工事の進捗や再発防止策、業者の確保や職員の育成などについて問われ、採決の結果、全員異議なく可決されました。

◆人事案件に同意

農業委員会委員の任命、人権擁護委員の推薦に関する議案が提出され、全員異議なく同意しました。

〔農業委員会委員〕
○荒川 薫氏(岡崎)

○松本寿永氏(東真土三丁目)
○山本 毅氏(明石町)
○横山篤正氏(上吉沢)
〔人権擁護委員〕
○大畑正子氏(南豊田)

◆平塚市印鑑条例の一部を改正する条例を可決

多機能端末機を利用する場合に、印鑑登録証明書の交付申請に用いることができるものに関する規定に、特定在留カードなどを追加するための規定を整備する条例が提案されました。

常任委員会では、条例改正に至った経過や、カードの紛失時の手続きなどが問われ、採決の結果、賛成多数で可決されました。

○高橋美千子氏(田村二丁目)
○高橋立一氏(平塚四丁目)
○二宮とも子氏(上吉沢)
○細野敏征氏(大神六丁目)
○栗原幸雄氏(山下三丁目)
○加藤一郎氏(真田四丁目)
○落合重雄氏(大島)
○大塚光徳氏(豊田宮下)
○上原康雄氏(入野)

議員在職15年の議員を表彰

全国市議会議長会より、議員在職15年の表彰があり、今定例会初日の本会議終了後に、議長から表彰状の伝達披露がありました。

表彰された議員



数田 俊樹 議員
(清風クラブ)

「第74回湘南ひらつか七夕まつり開催」

(撮影日 令和8年7月3日)



今定例会では、5億561万2千円の一一般会計補正予算が提案されました。

総務費では、防犯力の更なる向上を図るため、県の補助制度を活用して平塚市防犯協会への補助金を増額したほか、自治会などへの防犯カメラ設置補助金を増額しました。

民生費では、最高裁判所の国に対する判決に伴う中国残留邦人等支援給付費及び生活保護費の追加給付などに係る経費を措置しました。また、高齢者が仲間と集い活動する「通いの場」の開催団体に対する補助金を増額しました。さらに、国際交流のための企業版ふるさと納税を活用して、日本語版リトアニア小百科及びリトアニア語版日本小百科の購入経費を措置しました。このほか、税制改正などに伴う福祉総合システムや児童扶養手当システムなどの改修費を計上するほか、介護保険事業特別会計

一般会計補正予算の一部を紹介

●防犯設備整備事業

防犯カメラを設置する自治会などへの補助を拡充するための経費…………… 300万円

●障がい者福祉対策事業

障害福祉サービス報酬改定、自立支援医療に係る基準変更及び税制改正に伴うシステム改修を行うための経費…………… 663万円

●学校給食管理事業

栄養教諭の働き方改革を目的に、給食管理システムを改修するための経費…………… 119万円

●図書館アウトリーチサービス事業

助成金を活用して移動図書館車を更新するための経費…………… 532万円

主な内容

総括質問…………… 2～7面

清風クラブ…………… 2・3

片倉章博 坂間正昭 野崎審也

湘南フォーラム絆…………… 4

白井照人 出村 光 久保田聡

公明ひらつか…………… 5

岡崎通子 上野仁志 石田美雪

しらさぎ・無所属クラブ…………… 6

渡部りょう 元島しん

日本共産党平塚市議会議員団…………… 6

松本敏子

無所属…………… 7

佐藤由美子 小泉春雄

分科会の審査概要…………… 3面

審議の結果…………… 7面

総括質問

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」としています。今定例会では、14人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

清風クラブ

『夢ある未来』平塚を創る

片倉 章博 議員

梅屋跡地『にぎわい・交流創出拠点』に

問 本年3月に「平塚市と平塚信用金庫との持続可能なまちづくりの推進に関する包括連携協定」が締結された。2032年に迎える市制施行及び平塚信用金庫の創立100周年が重なり、その先にある未来の発展を目指し、両者が持続可能なまちづくりを推進していく。平塚信用金庫は梅屋本館の跡地を購入し、現在はパーキングとして整備されている。梅屋本館の跡地を将来構想に掲げる「にぎわい・交流創出拠点」に位置付け、平塚信用金庫とより強力な連携をしていくことについて見解を伺う。

市長 平塚駅周辺地区の中でも紅谷パールロードに面した「平塚の顔」ともいえる大切な場所が、再度動き出すとしている今は、本市にとっても絶好の機会であると捉えている。多くの人が集い、にぎわいをつくり出す拠点となるよう、私もまちづくりをリードしていく者として、平塚信用金庫と手を携え、スピード感を持ってしっかりと取り組んでいきたい。

問 市制施行100周年と平塚信用金庫の創立100周年に合わせて、整備を進めていくことが大変重要だと思いが、見解を伺う。

市長 平塚信用金庫が梅屋本館の跡地を取得し、新たなシンボルを考え、まちづくりや拠点づくりを進めていくことは、新たなまちのにぎわいの中心や、象徴的なものになるのではないかと考えている。平塚信用金庫からまちづくりを共に進めていこうと提案もされている。「平塚の顔」として、再び魅力のあるまちにすると決意を持って取り組んでいきたい。

問 平塚駅周辺地区将来構想では、中心市街地につかの拠点を誘導することが示されている。平塚信用金庫と共に中心街に公共施設を誘致し、本市の活性化につなげるのが重要だと

思うが、見解を伺う。

市長 平塚信用金庫と連携しながら、中心市街地の魅力化を図り、公共施設の在り方も、市民の意見を聞きながら、しっかりと進めていきたいと考えている。

問 市制施行100周年まであと6年である。6年あれば構想や基本設計などがしっかりとできると思う。市民にPRするいい時期だと思いが、見解を伺う。

市長 まち全体をどういう形で魅力化することができるか、本市の表玄関の魅力化を示すことができるかについては、重きを置いて進めていきたいと思っている。6年間でどのように進めていけるのかは、これから検討に入るが、市民も含め意見をもらいたいと思っている。



「平塚駅周辺地区将来構想」

紅谷町駐車場

問 劣化度調査の結果からさまざまな課題があると認識しているが、紅谷町駐車場の耐震は大丈夫なのか伺う。

企画政策部長 紅谷町駐車場は新耐震の基準を満たしていると考えている。

まちづくり・地域づくり

坂間 正昭 議員

新たな戦略的なまちづくり

問 平塚市都市マスタープラン(第3次)の改定に伴う、2核1地域の新たなまちづくりの進め方を伺う。

副市長 2核1地域のまちづくりを基本とし、市全域のまちの現況や、現行計画

の進捗などを評価検証し、地域の人や市民活動団体、企業などから幅広く意見をもらう。さらに、新たに設けた学識経験を有する人などによる専門部会や、都市計画審議会からも意見をもらい、改定に取り組んでいく。

問 昨年土屋地区の一部改訂が行われたが、改めてどのように進めるのか伺う。

まちづくり政策部長 改定にあたっては、今後の土地利用の状況を注視しながら、改めて地域の意見を聞き、進めていきたい。

問 神奈川県川崎競馬組合が断念した理由に、地元からのさまざまな意見や、要望への対応など、解決困難な課題が判明したとある。説明会で地域は、生活環境に関することを質問した

が、反対していると捉えられるのは困る。市に対して、地区計画の策定期間の見通しが立たないことが断念の理由とされたが、市はどのような姿勢で向き合ってきたのか伺う。

企画政策部長 市は都市計画手続きに必要な相談などに、適宜対応してきたと考えている。新たな土地利用に備え、迅速に関連事務作業を行ってきた。地域も、跡地活用に関する組織を

が、反対していると捉えられるのは困る。市に対して、地区計画の策定期間の見通しが立たないことが断念の理由とされたが、市はどのような姿勢で向き合ってきたのか伺う。

今後の地域づくりの取り組み

問 今後の地域づくりの形や地域コミュニティへの支援の在り方、地域と行政の役割など、持続可能な地域運営につながる取り組みとして、どのようなことを目指すのか伺う。

副市長 近年、地域や住民、あるいは行政のみでは地域課題の解決が困難になっている。将来にわたって持続可能な地域自治の実現に向け、3千人の市民を対象にアンケートを実施した。地域との関わり方や今後の地域参加の意向を調査

しており、今後は地域で活動している団体にもアンケートを行い、活動状況や課題、行政からの依頼事項の負担感などを調査する予定である。調査結果から素案を作成し、有識者の意見を聞きながら、令和9年度末を目途に地域づくりに関する考え方を策定する。

問 若者の地域活動の拠点や、若者が参画しやすい企画が必要だと思うが、地域活動の支援などの取り組みを伺う。

市民部長 若い人に地域活動の情報がより届きやすくなる仕組みや、楽しく地域活動に参加してもらえる仕組みを、アンケート調査や新たな取り組みなどを参考に検討していきたいと考えている。

可決した意見書

議員から、次の意見書が提案され、賛成多数で可決しました。ホームページには全文を掲載しています。

子どもたちに豊かな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書(抜粋)

次の事項について配慮されるよう、強く要望する。

- 子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、行き届いた教育を実現するため、中学校35人以下学級を確実に推進するとともに、学級編制の標準を更に引き下げ、30人以下学級の実現を図ること。
- 持続可能な学校運営体制を確立するため、「乗ずる数」の見直し等を含めた検討を行い、抜本的な教職員定数改善を進めること。
- 不登校児童・生徒を含む全ての子どもたちがいつでも安心して学ぶ環境を整えるため、校内教育支援センター支援員や専門性を有するスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を拡充し、常勤化を進めること。
- 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

インターネット中継

本会議は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。





人口減少時代、異次元の
少子化対策待ったなし

野崎 審也 議員

結婚を望む 人への支援

問 結婚するかどうかは個人の自由であり、近年は望まない人も多い。本市では「平塚市総合計画」ひらつかVISION」で結婚を望む人への支援として、出会いの場の創出を図っている。これまで本市が後援した出会いに関するイベントを伺う。

健康・こども部長 本市が後援した民間団体によるイベントは、令和6年度から3回実施され、これまでに男性は43人、女性は41人が参加し、全体の約54%にあたる23組のカップルが成立した。昨年11月には県の婚活イベントが美術館で開催され、男女41人が参加し、10組のカップルが成立した。

婚姻数を増やす方策

健康・こども部長 今年度は、新たに東海大学の学生を対象としたライフデザインセミナーを開催し、意識の醸成を図っていきたいと考えている。

婚姻数を増やす方策

問 福島県南相馬市は国の地域少子化対策重点推進交付金を活用して、結婚相談所と連携している。本市でも検討してはいかがか。

健康・こども部長 庁内で検討し、必要に応じて参考にしていきたい。

園児の声は騒音が

問 昨年保育園の新設計画があったが、地域住民から

問 若い世代の意識をどう変えていくのか見解を伺う。

健康・こども部長 今年度は、新たに東海大学の学生を対象としたライフデザインセミナーを開催し、意識の醸成を図っていきたいと考えている。

健康・こども部長 今年度は、新たに東海大学の学生を対象としたライフデザインセミナーを開催し、意識の醸成を図っていきたいと考えている。

健康・こども部長 今年度は、新たに東海大学の学生を対象としたライフデザインセミナーを開催し、意識の醸成を図っていきたいと考えている。

健康・こども部長 今年度は、新たに東海大学の学生を対象としたライフデザインセミナーを開催し、意識の醸成を図っていきたいと考えている。

健康・こども部長 今年度は、新たに東海大学の学生を対象としたライフデザインセミナーを開催し、意識の醸成を図っていきたいと考えている。

園児の声は騒音が

問 昨年保育園の新設計画があったが、地域住民から

園児の声が騒音であるとして反対があり、途中で頓挫した。また、市内全域でも幼稚園や保育園、認定こども園などに接している地域住民からは、園児の声がうるさいなどの苦情がある。子どもは将来を担う宝である。地域の大人が子どもを温かく見守り、育てていく環境を作るべきと考え、見解を伺う。

問 イーローローラーは子どもたちに人気の乗り物だが、現在の保有台数と利用状況を伺う。

都市整備部長 16台のイーローローラーを保有しており、オープンから5月末までに約3600回の貸し出しをした。

市営住宅の駐車場の 外部貸し出し

問 市営住宅の駐車場を民間事業者には有償で貸し出すが、募集対象の市営住宅と台数を伺う。

都市整備部長 龍城ヶ丘住宅が47台、虹ヶ浜東住宅が25台、虹ヶ浜住宅が16台の合計88台の募集を行った。いつ頃から運用が可能になるのか伺う。

都市整備部長 7月上旬には使用許可を出したいと考えており、運用はそれ以降になる。

▼このほかの質問 学校環境衛生の維持、向上に向けた学校薬剤師の取り組み

問 今年も暑い夏になる予報である。ミストシャワーの設置を検討しているとのことだが、詳細を伺う。

都市整備部長 シャワーの設置場所や範囲について検討しているところである。

清風クラブ 所属議員



佐藤 貴子 議長



数田 俊樹 議員



諸伏 清児 議員



須藤 量久 議員



黒部 栄三 議員

予算決算常任委員会（各分科会）の審査概要

今定例会に上程された令和8年度補正予算に関する議案について、6月23日から24日にかけて開催した予算決算常任委員会（各分科会）で審査しました。主な質疑を紹介します。

総務経済

○議案第40号 令和8年度平塚市一般会計補正予算

問 安全対策費の防犯対策・治安向上推進事業について、平塚市防犯協会の役員が着用する制服の更新について伺う。

答 令和6年3月に平塚遊技場組合からフードインベストが寄贈された。フードインベストは袖がないウインドブレーカーで、オールシーズン着用が可能である。サイズが大きめなため、役員が代わっても円滑に引き継ぎ、役員は防犯キャンペーンなどで着用し、活動している。

問 農地費の農道・用排水路維持管理事業について、空調服等購入消耗品費が計上されているが、空調服は個人に貸与するのか、または職場に常備するのか伺う。

答 空調服は、基本的には作業する職員に貸与するが、現場に従事する職員だけではなく、事務職員も使用することがあるため、ほかの職員も使えるよう、職場全体で共有する予定である。

都市建設

○議案第40号 令和8年度平塚市一般会計補正予算

問 公園費の公園施設維持管理事業について、国のガイドラインに基づき、職場における熱中症による労働災害などの防止を図るために空調服などの購入費が計上されているが、ガイドラインの内容を伺う。また、委託業者などもガイドラインが適用されるのか伺う。

答 作業管理の中で、「作業時間の短縮等」として、作業の休止時間や休憩時間の確保、また「服装による身体冷却」として、透湿性・通気性の良い服や身体を冷却する機能を持つ服の着用などが示されており、委託業者などにも周知を図っていく。

問 周知も大切だが、ガイドラインに即した対策になっているかの確認も必要である。見解を伺う。

答 令和8年4月に平塚労働基準監督署から各事業所に通知が出された。委託業者には、ガイドラインの遵守と、対策について市に報告するよう伝えていく。

教育民生

○議案第40号 令和8年度平塚市一般会計補正予算

問 学校給食費の学校給食管理事業について、栄養教諭の働き方改革を目的に、給食管理システムを改修することだが、内容について伺う。

答 システム改修により、栄養教諭の負担になっていた事務作業を栄養教諭以外の栄養士が担えるようになる。また、手作業で入力していた給食食材の栄養成分や、アレルギー表示などの情報を自動で読み取ることが可能になる。

問 図書館費の図書館アウトリーチサービス事業について、要望があれば、サンサンマルシェや市民が主体となるイベントなどにも参加が可能なか伺う。

答 団体からの要望以外にも、イベント会場や大型商業施設などへの参加を想定している。移動図書館があることで、買い物の途中や遊びのなかで、より気軽に図書館に触れる機会が提供できると考えている。

環境厚生

○議案第40号 令和8年度平塚市一般会計補正予算

問 廃棄物処理費のごみ収集運搬事業について、職場における熱中症による労働災害などの防止を図るため、アイススラリー用冷凍庫の購入費が計上されている。今回、熱中症対策として空調服を購入する課が多いが、アイススラリー用冷凍庫を購入する理由を伺う。

答 アイススラリーは細かい氷の粒子が液体に混ざったシャーベット状の飲料で、体の内側から冷やることができるため、熱中症対策として購入する。空調服は外気を取り込み、被服が膨らんでしまうため、作業のしにくさがある。収集作業員は移動時に車内の空調で涼むことが可能なため、空調服の購入は見送った。

問 今後の熱中症対策について、見解を伺う。

答 アイススラリーについては、効果の検証が必要だと考えている。空調服は作業のしやすさなども含め、今後研究していきたい。

湘南フォーラム絆



満足度NO.1の
平塚をめざして

白井 照人 議員

市内経済の好循環推
進に向けた取り組み

問 小・中学校の給食食材の調達について、市内と市外業者の数、構成割合と支出額を伺う。

市長 学校給食センターでは市内業者数が14社で、構成割合が42・4%、支出額は約2億7千万円で33・2%、市外業者数が19社で57・6%、支出額は約5億4千万円で66・8%である。

問 単独調理場7校では市内業者数が15社で53・6%、支出額は約9千万円で37・5%、市外業者数が13社で46・4%、支出額は約1億5千万円で62・5%である。

問 市外業者へ2倍以上の金額が支払われているが、地域経済の観点から、問題はないのか見解を伺う。

教育総務部長 地方自治法にのっとり、公正かつ公平に選定した結果である。

問 市民病院の食材調達の市内と市外業者の数、構成割合と支出額を伺う。

市長 市内業者数は4社で36・4%、市外業者数は7社で63・6%である。支出額は税抜きで市内業者が約1千万円で11・8%、市外業者が約7千万円で88・2%である。

問 市内経済の活性化の観点から、この差をどのように考えるのか見解を伺う。

市民病院事務局長 食材の高騰などに影響されるため、見積り合わせでより安価な業者を選ばざるを得ない状況である。やむを得ず市外業者の割合が増えていると認識している。

問 民間の幼稚園が認定こども園に移行した件数と、補助金の内訳を伺う。

市長 過去5年間で4園の幼稚園が認定こども園に移行し、3園に補助金を交付した。内訳は建て替えが2園で約6億9千万円、改修が1園で約3億円である。

問 補助金の原資は税金である。給食食材を市内業者から調達するという条件を加えてはどうか。

健康・こども部長 補助金は施設整備を目的に交付しているため、市内業者に限定するよう市から依頼することは出来ない。

問 税金を市内で循環させる構造にするべきと考えるが、見解を伺う。

市長 地元食材の使用について思いを伝えていく。

平塚駅周辺の
安心・安全

問 国はシエルトアの整備を推進する方針を閣議決定したが、本市が策定した平塚駅周辺地区将来構想及び平塚駅周辺地区アクションプランに、地下空間を活用した防災や避難機能の考え方は示されているか伺う。

駅周辺地区整備担当部長 アクションプランでは、公共貢献メニューに、帰宅困難者用一時滞在施設の整備を位置づけ、広く防災の考え方を取り入れている。



子を育み、高齢者に寄り添う
安心・安全なまちづくり

出村 光 議員

問 土沢地区の認定こども園と、神田保育園の建て替え状況を伺う。

健康・こども部長 (仮称)土沢認定こども園は新園舎の建設工事を進め、神田保育園は移転先の地盤改良工事の準備をしている。共に、令和9年4月の開所を目指している。

問 保育士の処遇改善について伺う。

健康・こども部長 1歳児に対しては、国の基準より多くの保育士を配置しており、配慮が必要な子どもの受け入れに対しては、人件費を補助するなど、保育士の負担軽減を図っている。

問 保育士確保政策の改善について見解を伺う。

健康・こども部長 保育現場の声を聞きながら利用しやすい制度になるよう、研究していく。

国民保護を含めた、多目的な活用方法について伺う。

駅周辺地区整備担当部長 地下空間は武力攻撃から自然災害まで、さまざまな緊急事態に一時避難施設として活用できる。駅周辺の再整備にあたっては、国や県、防災計画などの動向を踏まえ、必要に応じた防災機能の向上に努めていく。

問 市民の生命や財産を守るため、研究を進めてもらいたい。見解を伺う。

駅周辺地区整備担当部長 上位計画との整合性を図りつつ取り組んでいきたい。

高齢者に寄り添う

問 福祉会館や地区公民館で開催している、スマートフォンの使い方講座の参加状況と課題を伺う。

福祉部長 講座には多数参加がある。課題は、参加者の個人差に対する対応である。今後も習熟度に合わせた講座や、日常生活に役立つ講座を開催していく。

問 パソコンやスマートフォンを持つていない人への寄り添いについて伺う。

デジタル推進担当部長 窓口での対面によるサポートや、書面による従来の行政サービスも継続し、高齢者に寄り添っていききたい。

問 特殊詐欺の被害者にならないための防止策と、今後の取り組みを伺う。

健康・こども部長 保育現場の声を聞きながら利用しやすい制度になるよう、研究していく。

5月臨時会 審議の結果

令和8年5月15日に5月臨時会を開催し、市長提出議案が8件提出され、全員異議なく承認、同意しました。

市長提出議案

議案番号	件 名	結果
第26号	専決処分の承認について〔平塚市市税条例及びアメリカ合衆国軍隊の構成員等が所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の賦課徴収の特例に関する条例の一部を改正する条例〕	承認
第27号	専決処分の承認について〔平塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例〕	承認
第28号	専決処分の承認について〔令和7年度平塚市一般会計補正予算〕	承認
第29号	専決処分の承認について〔令和7年度平塚市競輪事業特別会計補正予算〕	承認
第30号	専決処分の承認について〔令和7年度平塚市国民健康保険事業特別会計補正予算〕	承認
第31号	専決処分の承認について〔令和7年度平塚市介護保険事業特別会計補正予算〕	承認
第32号	固定資産評価員の選任について	同意
第33号	令和8年度平塚市一般会計補正予算	可決

報 告

報告番号	件 名
第2号	専決処分の報告について



教育環境の充実に向けて

久保田 聡 議員

平塚市立金目小学校
中学校五領ヶ台分校
の在り方

問 五領ヶ台分校では、児童生徒一人一人の個性や状況に応じたきめ細やかな支援や、高度な専門性などが求められるが、どのように認識しているか伺う。

学校教育部長 特色ある施設内学校で、きめ細やかな指導や支援が行われていることは、教職員の工夫や取り組みなどの積み重ねの成果だと認識している。

学校給食センターで
の栄養士の業務

問 平塚市学校給食センターが稼動して1年9か月

福祉部長 本市では特殊詐欺被害の防止策として、市内在住の65歳以上を対象に、迷惑電話防止機能付き電話機などの一部を補助している。今後も周知や啓発を継続し、防止に努める。

問 認知症の早期発見、対応について伺う。

福祉部長 市内13か所の高齢者よろず相談センターに

認知症地域支援推進員を配置し、本人や家族の相談支援を行うなどしている。

このほかの質問 総合浸水対策 防犯カメラ設置地域拡大 住宅の耐震化推進 小・中学校エアカン設置進捗状況 小・中学校トイレの洋式化・温水洗浄便座・みんなのトイレ 中学校部活動指導員の配置

問 この9年間で培われた専門的な支援やノウハウ、現状を、県内の教職員や学校に広め、通級支援などにも有効的に還元していくことが重要と考えるが、見解を伺う。

教育総務部長 これまでも事例研究を通じ、有効な支援方法などを改善してきた。10周年を迎えるにあたり、8月には近隣の小・中学校や特別支援学校の教職員の希望者を対象に、公開実践報告会という形で情報交換の場を設ける。五領ヶ台分校を知ってもらい、双方向の情報交換を行いたいと考えている。

湘南フォーラム絆

所 属 議 員



山原 栄一 議員



府川 正明 議員

公明ひらつか



小さな声を大切に
希望あふれる街ひらつかへ

岡崎 通子 議員

中東情勢による 中小企業支援策

問 我が公明党が全国で実施したアンケート調査では、約97%の中小企業が原油高の影響を受けていることが確認された。緊急的な支援策を早期に講じるべきと考えるが、見解を伺う。

市長 今年度から、コスト上昇による価格交渉が進められるよう、アドバイザーを派遣する相談支援を始めたほか、売り上げが減少した中小企業へ資金を支援する制度融資や相談窓口に加え、中小企業を柔軟に支援する体制を整えている。

ユマニチュードの 普及啓発について

問 ユマニチュードの導入に対する見解と、市民や介護職員がユマニチュードを学ぶ機会を設けることについて伺う。

福祉部長 日頃から認知症

会議録検索のご利用を

市議会ホームページの会議録検索では、日程や発言者などから簡単に検索することができます。



れからのまちづくりに大変重要であると考えているが、見解を伺う。

社会教育部長

エレベーターの保守 管理などについて

問 他市では競争入札の導入や、契約内容の見直しに



介護・地域・暮らしを守る
上野 仁志 議員

介護職場支援

問 介護助手の導入支援について伺う。

副市長 介護保険制度の改正で、介護助手の配置による加算が算定可能となり、事業所の収入増加と経営安定化のほか、職員の処遇改善につながるが期待される。資格がなくても従事可能な業務について、市ホームページで周知するほか、介護事業所を紹介する冊子には、介護助手の募集情報を掲載している。またハローワーク平塚と共催で就職説明会を開催し、介護助手の募集を行うなど、導入支援を行っている。

有償ボランティアのマッチングサービス「スケットター」の評価について

副市長 人手不足の解消や職員の負担軽減になったと高評価の一方で、事務負担があるとの意見もあった。

るため、市内で全ての種目の環境を整えることは難しいと考えている。市外の近隣施設や、県内の状況などを情報提供し、スポーツをする機会の周知に努めている。

エレベーターの保守 管理などについて

問 他市では競争入札の導入や、契約内容の見直しに

介護・地域・暮らしを守る
上野 仁志 議員

問 若い人の就労につながるスケッチャーなども十分検討してはどうか。

福祉部長 地域と福祉事業所をつなぐ仕組みとして、スケッチャーは有効だが、利用の際には利用者負担があることに事業所は課題を感じている。まずは、事業所にこの仕組みのメリットを感じてもらうことが必要のため、事業所の会合などで、スケッチャーの仕組みを紹介していきたい。

空家対策

問 緊急代執行を行う条件について伺う。

まちづくり政策部長 緊急に除却や修繕、周辺の生活環境の保全を図るために必要がある場合である。

問 市民に緊急代執行が必要な場合を公表すべきと思うが、いかがか。

まちづくり政策部長 情報収集ができた段階で、公表していきたい。

物価高騰と入札対応

問 下位等級の発注基準額が400万円未満である妥当性を見直しの考えについて伺う。

総務部長 本市は他市に比べ、土木工事の事業者数が多く、一律に比較はできないが、昨今の資材価格の高騰や人材不足なども踏まえ、庁内で協議し、見直しに向け検討していく。

問 市内事業者の受注機会の確保について伺う。

総務部長 より多くの事業



命を守るまちづくりの推進
石田 美雪 議員

問 被災後の復興に備える事前復興まちづくり計画の取り組み状況と、平塚市都市マスタープラン（第3次）に組み入れることへの見解を伺う。

まちづくり政策部長 令和5年に国のパートナー都市に登録し、研修会への参加や情報収集を行っており、都市マスタープランの策定

議会図書室のご案内

議会には、議員の調査研究のため、図書室の設置が法律により義務付けられています。

本市議会では開かれた議会とするため、議場前の開放したスペースに議会図書室を設け、市民・議会・行政が共同で利用できる環境をつくりました。

議会図書室には、市の行政資料や地方自治の政策に関する書籍・雑誌などがあります。また、会議録や議会だよりを配架し、情報発信に努めています。

ご利用いただける時間は、午前8時30分から午後5時までの間となります。市役所にお越しの際には是非お立ち寄りください。



声や点字の 議会だより

目の不自由な方に市議会の活動をお伝えするため、議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。

ご希望の方は議会局までご連絡ください。

問い合わせ
議会局 ☎21-8791



問 学ぶことへの喜びや意欲を育む取り組み、また、主体的に学びを選択する教育実践は、どのように推進しているのか伺う。

学校教育部長 各学校では、学ぶことへの喜びや意欲を育み、学びが日常生活に生きる授業づくりに取り組んでいる。また、児童生徒が自ら課題を設定し、他者との対話や協働を通して新たな課題を設定する授業を目指し取り組んでいる。

問 学校のルールづくりに子どもの意見を反映することについて見解を伺う。

学校教育部長 成長や自立を促すために重要だと考える。多様な意見を尊重しつつ合意形成を図り、ルール

公明ひらつか 所属議員



五十嵐 豊 議員



秋澤 雅久 議員

しらさぎ・無所属クラブ

避難所と地域の防災DXの推進

渡部 りょう 議員



問 避難所におけるマイナンバーカードを活用した電子受付の導入の可能性と、導入を見据えた停電時の通信確保体制について伺う。

市長 本市では避難所開設訓練において、停電時に備えた蓄電池の活用を含め、デジタル化に取り組んでいる。今年度は県の実証事業に参加し、課題解決への検証を進めていく。

重度障がい者医療費精神2級の対象化を

問 重度障害者医療費助成は、一部の近隣自治体は精神障害者保健福祉手帳の2級を対象としているが、本市は対象としていない。現状に対する見解を伺う。

福祉部長 重度障害者医療費助成は県と市町村で2分の1ずつ負担し、精神障害者保健福祉手帳の2級は県基準に合わせている。

問 自治会におけるSNSやチャットツールなど、デジタルツールを活用した防災について見解を伺う。

問 県に対してどう働きかけを行っているのか伺う。

日本共産党平塚市議会議員団

市民が生きがいをもって暮らせるまちに

松本 敏子 議員



水の官民連携に 対する市の考え方

問 国は少子高齢化や、公共施設の老朽化が深刻な現状を踏まえ、全国自治体の水道、工業用水道、下水道の分野に水の官民連携の導

入を推進しようとしている。導入した場合のメリットや課題、導入しない場合の影響について伺う。

土木部長 官民連携は、分野の公共施設が抱える更新需要の増加や職員数の減少、人口減少に伴う経営環

境の悪化などの課題を民間のノウハウや創意工夫、新技術の導入により、解決していくための効果的な手法である。導入した場合は、職員の技術力の保持や技術承継が課題となる。導入しない場合には、今後国の交付金を受けられない工事が発生し、事業の進捗に影響が出るものと考えている。

問 水道や下水道は、市民生活や地域経済を支えるインフラとして大変重要である。本市が下水道事業の維持管理を民間に任せただけで、10年後の更新時には全体を把握できる市職員がおり、必然的に管理運営まで任せるコンセッション方式に移行せざるをえない状況になるのではと危惧するが、見解を伺う。

土木部長 今後の導入可能性調査の中でしっかり見通しを立てて、段階的に行っていく。

問 大手企業を優遇するた

の入水は禁止されているが、つば付き帽子の着用とテントの持ち込みについて見解を伺う。

都市整備部長 大プールは泳ぎが中心のため、つば付き帽子の着用は認めていない。小・中プールは小さい子どもが遊ぶプールであり、怪我防止の面から柔らかい縁の帽子については認めている。テントは空いて



7月27日～8月16日まで開設。小・中プールでは柔らかいつば付き帽子が着用できる

いる時間帯には、小さな飛ばないものを認めている。

ひらつかシーテラスの改善

元島 しん 議員



安全対策と災害時の車椅子避難

問 海への安全対策として、ひらつかシーテラスの園内に看板が設置された。本市の海は急に深くなるが、この危険性は他所から来た人には分からない。看板は命を守る案内であるため、更に大きな看板を立て

問 つば付き帽子を被って

てもいいと思うが、見解を伺う。

都市整備部長 来園者に対し海の危険性について注意喚起する看板を園内に設置し、周知している。現在、更に有効な安全対策や、熱中症対策について指定管理者が検討を進めている。

問 エントランス棟に設置されているエレベーターの

稼働時間は、9時から17時15分である。もしも、エレベーターの稼働時間外に災害が起きた場合、どのように避難する想定をしているのか伺う。

都市整備部長 津波警報や津波の恐れがある場合の避難については、北へ移動するようお願いする。

問 エントランス棟の屋上は展望台になっているが、展望台は津波被害の心配はないのか伺う。

都市整備部長 展望台は津波避難施設と兼用されているが、津波警報や津波の恐れがある際には、海岸地域にいる人は、海から離れた北へ避難するのが基本と考える。

問 例えば、エレベーターが稼働していない17時半に地震が発生した場合に、車椅子の人はどのように逃げ

るのか伺う。

都市整備部長 ひらつかシーテラスに限らず、地震

が起きた際には、基本は北に逃げ、避難をしてもらいたい。

問 北へ逃げることは分かったが、エレベーターが稼働していない時間に地震が起きた場合は、どのように逃げるのか伺う。

都市整備部長 エレベーターは稼働していないため、エレベーターを使わず北へ逃げてほしい。

問 マルシェ棟の営業時間は店舗によって異なり、営業時間内でも閉めている店舗がある。管理体制はどのようなになっているのか。また、店舗を利用した人には、駐車場の料金を1時間無料にするなど、減免につ

いての考えを伺う。



シーテラスのInstagramのフォロワーは6月定例会時で約540人

▼このほかの質問 保育料等の多子軽減における年齢制限撤廃

問 市民がこれまで享受してきた文化芸術活動や、生涯学習の場が使用できなくなるといふ配慮して欲しいが、見解を伺う。

企画政策部長 まちづくり全般を考えて、今後検討していきたいと考えている。

中央公民館の今後

問 民間の力を借りて、中央公民館を駅周辺に移し、中心市街地活性化の一助としたいとの発言があったが、決定と考えていいか伺う。

市議会ホームページ

市議会に関する情報は、市議会ホームページからご覧になれます。



所属議員



高山 和義 議員

所属議員



高山 和義 議員

しらさぎ・無所属クラブ所属議員



はた 文昭 議員



江口 ともこ 議員

無所属

市民の誇る中央公民館の
今後の在り方は

佐藤 由美子 議員

問

10月から中央公民館が
休館となるが、中央公民館
の機能を持った施設の建設
は検討しているのか伺う。

社会教育部長

ホール機能
のあり方検討の結果と、休
館中の代替施設の利用状況
を踏まえ、市民の声を把握
しながら、令和9年度にか
けて中央公民館機能の在り
方を検討していく。施設の
在り方については、総合的
な検討が必要と考える。

問

中央公民館の解体費用
は、建物全体で15億円以上
と見込むが、なぜ改修を
検討しなかったのか伺う。

社会教育部長

大規模改修
には約50億円の試算が出て
いる。50億円をかけてもバ
リアフリーの整備などが完
全に行えないため、改修に
は至らなかった。

問

今年開館50年の博物館

問

中央公民館の解体費用
は、建物全体で15億円以上
と見込むが、なぜ改修を
検討しなかったのか伺う。

社会教育部長

大規模改修
には約50億円の試算が出て
いる。50億円をかけてもバ
リアフリーの整備などが完
全に行えないため、改修に
は至らなかった。

問

今年開館50年の博物館

問

中央公民館の解体費用
は、建物全体で15億円以上
と見込むが、なぜ改修を
検討しなかったのか伺う。

社会教育部長

大規模改修
には約50億円の試算が出て
いる。50億円をかけてもバ
リアフリーの整備などが完
全に行えないため、改修に
は至らなかった。

無所属

市民の誇る中央公民館の
今後の在り方は

佐藤 由美子 議員

問

10月から中央公民館が
休館となるが、中央公民館
の機能を持った施設の建設
は検討しているのか伺う。

社会教育部長

ホール機能
のあり方検討の結果と、休
館中の代替施設の利用状況
を踏まえ、市民の声を把握
しながら、令和9年度にか
けて中央公民館機能の在り
方を検討していく。施設の
在り方については、総合的
な検討が必要と考える。

問

中央公民館の解体費用
は、建物全体で15億円以上
と見込むが、なぜ改修を
検討しなかったのか伺う。

社会教育部長

大規模改修
には約50億円の試算が出て
いる。50億円をかけてもバ
リアフリーの整備などが完
全に行えないため、改修に
は至らなかった。

問

今年開館50年の博物館

問

中央公民館の解体費用
は、建物全体で15億円以上
と見込むが、なぜ改修を
検討しなかったのか伺う。

社会教育部長

大規模改修
には約50億円の試算が出て
いる。50億円をかけてもバ
リアフリーの整備などが完
全に行えないため、改修に
は至らなかった。

問

今年開館50年の博物館

問

中央公民館の解体費用
は、建物全体で15億円以上
と見込むが、なぜ改修を
検討しなかったのか伺う。

社会教育部長

大規模改修
には約50億円の試算が出て
いる。50億円をかけてもバ
リアフリーの整備などが完
全に行えないため、改修に
は至らなかった。

無所属

市民の誇る中央公民館の
今後の在り方は

佐藤 由美子 議員

問

10月から中央公民館が
休館となるが、中央公民館
の機能を持った施設の建設
は検討しているのか伺う。

社会教育部長

ホール機能
のあり方検討の結果と、休
館中の代替施設の利用状況
を踏まえ、市民の声を把握
しながら、令和9年度にか
けて中央公民館機能の在り
方を検討していく。施設の
在り方については、総合的
な検討が必要と考える。

問

中央公民館の解体費用
は、建物全体で15億円以上
と見込むが、なぜ改修を
検討しなかったのか伺う。

社会教育部長

大規模改修
には約50億円の試算が出て
いる。50億円をかけてもバ
リアフリーの整備などが完
全に行えないため、改修に
は至らなかった。

問

今年開館50年の博物館

問

中央公民館の解体費用
は、建物全体で15億円以上
と見込むが、なぜ改修を
検討しなかったのか伺う。

社会教育部長

大規模改修
には約50億円の試算が出て
いる。50億円をかけてもバ
リアフリーの整備などが完
全に行えないため、改修に
は至らなかった。

問

今年開館50年の博物館

問

中央公民館の解体費用
は、建物全体で15億円以上
と見込むが、なぜ改修を
検討しなかったのか伺う。

社会教育部長

大規模改修
には約50億円の試算が出て
いる。50億円をかけてもバ
リアフリーの整備などが完
全に行えないため、改修に
は至らなかった。

無所属

市民の誇る中央公民館の
今後の在り方は

佐藤 由美子 議員

問

10月から中央公民館が
休館となるが、中央公民館
の機能を持った施設の建設
は検討しているのか伺う。

社会教育部長

ホール機能
のあり方検討の結果と、休
館中の代替施設の利用状況
を踏まえ、市民の声を把握
しながら、令和9年度にか
けて中央公民館機能の在り
方を検討していく。施設の
在り方については、総合的
な検討が必要と考える。

問

中央公民館の解体費用
は、建物全体で15億円以上
と見込むが、なぜ改修を
検討しなかったのか伺う。

社会教育部長

大規模改修
には約50億円の試算が出て
いる。50億円をかけてもバ
リアフリーの整備などが完
全に行えないため、改修に
は至らなかった。

問

今年開館50年の博物館

問

中央公民館の解体費用
は、建物全体で15億円以上
と見込むが、なぜ改修を
検討しなかったのか伺う。

社会教育部長

大規模改修
には約50億円の試算が出て
いる。50億円をかけてもバ
リアフリーの整備などが完
全に行えないため、改修に
は至らなかった。

問

今年開館50年の博物館

問

中央公民館の解体費用
は、建物全体で15億円以上
と見込むが、なぜ改修を
検討しなかったのか伺う。

社会教育部長

大規模改修
には約50億円の試算が出て
いる。50億円をかけてもバ
リアフリーの整備などが完
全に行えないため、改修に
は至らなかった。

審議の結果

市長提出議案

○は賛成 ×は反対
(各会派の正式名称はページ右下に記載しています)

議案番号	件名	結果	清	湘	公	し	共	A	B
第34号	平塚市行政手続条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第35号	地方税法第314条の7第1項第4号に掲げる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人等を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第36号	工事請負契約の締結について〔平塚市中央図書館改修工事〕	可決	○	○	○	○	○	○	○
第37号	訴えの提起について	可決	○	○	○	○	○	○	○
第38号	訴えの提起について	可決	○	○	○	○	○	○	○
第39号	和解契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○
第40号	令和8年度平塚市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第41号	令和8年度平塚市介護保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第42号	平塚市印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○	○
第43号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○
第44号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○
第45号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○
第46号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○
第47号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○
第48号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○
第49号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○
第50号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○
第51号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○
第52号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○
第53号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○
第54号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○
第55号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○
第56号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○
第57号	人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○

議員提出案件

会議案番号	件名	結果	清	湘	公	し	共	A	B
第2号	子どもたちに豊かな学びを保障するために、教職員の定数改善と教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	×

請願

報告番号	件名	付託委員会	結果
第1号	新中央公民館建設を求める請願	教育民生 常任委員会	不採択
第2号	子どもたちに豊かな学びを保障するために、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願	教育民生 常任委員会	採択

報告

報告番号	件名
第3号	専決処分の報告について
第4号	継続費の逓次繰越しの報告について
第5号	繰越明許費の繰越しの報告について
第6号	公営企業会計予算繰越しの報告について
第7号	公益財団法人平塚市まちづくり財団の経営状況について
第8号	公益財団法人平塚市生きがい事業団の経営状況について

会派名等の表記について

審議結果一覧表では、会派名等を略称で表記しています。正式名称等は次のとおりです。

清……清風クラブ（8名）
湘……湘南フォーラム絆（5名）
公……公明ひらつか（5名）
し……しらさぎ・無所属クラブ（4名）
共……日本共産党平塚市議会議員団（2名）
A……佐藤由美子（無所属）
B……小泉春雄（無所属）

常任委員会の新たな委員構成が決まりました

5月15日に臨時会を開催し、常任委員会委員などを改選しました。
産業、福祉、教育、まちづくりなど、多岐にわたる市政の課題などを調査し、付託された議案や請願を専門的に審査するのが常任委員会です。
議長を除く全ての議員は、4つの分野に分けられた常任委員会のいずれかに所属します。

◎…委員長 ○…副委員長 ()内は所属会派



議長 佐藤 貴子
(清風クラブ)

総務経済

- 防災
- 危機管理
- 行財政運営
- 情報政策
- 財産管理
- 税務
- 産業振興
- 競輪事業など



◎臼井 照人
(湘南フォーラム絆)



○元島 しん
(しらさぎ・無所属クラブ)



野崎 審也
(清風クラブ)



諸伏 清児
(清風クラブ)



小泉 春雄
(無所属)



石田 美雪
(公明ひらつか)



久保田 聡
(湘南フォーラム絆)

環境厚生

- 社会福祉
- 子育て
- 保健衛生
- 青少年育成
- 環境政策
- ごみ処理 など



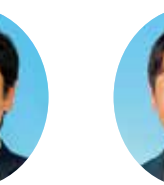
◎黒部 栄三
(清風クラブ)



○五十嵐 豊
(公明ひらつか)



数田 俊樹
(清風クラブ)



渡部 りょう
(しらさぎ・無所属クラブ)



松本 敏子
(日本共産党
平塚市議会議員団)



出村 光
(湘南フォーラム絆)

教育民生

- 市民協働
- 文化振興
- 学校教育
- 社会教育
- 公民館
- スポーツ振興 など



◎須藤 量久
(清風クラブ)



○府川 正明
(湘南フォーラム絆)



高山 和義
(日本共産党
平塚市議会議員団)



片倉 章博
(清風クラブ)



はた 文昭
(しらさぎ・無所属クラブ)



上野 仁志
(公明ひらつか)

都市建設

- 都市政策
- 公園
- 下水道
- 交通政策
- 道路
- 消防 など



◎秋澤 雅久
(公明ひらつか)



○坂間 正昭
(清風クラブ)



佐藤 由美子
(無所属)



岡崎 通子
(公明ひらつか)



江口 ともこ
(しらさぎ・無所属クラブ)



山原 栄一
(湘南フォーラム絆)

議会運営委員会

定例会の日程や議事の進行などを協議するために設けています。

- ◎数田 俊樹 (清風クラブ)
- 山原 栄一 (湘南フォーラム絆)
- 坂間 正昭 (清風クラブ)
- 江口 ともこ (しらさぎ・無所属クラブ)
- 秋澤 雅久 (公明ひらつか)

予算決算常任委員会

議長を除く、全議員25人

- ◎諸伏 清児 (清風クラブ)
- 山原 栄一 (湘南フォーラム絆)

お知らせ

○9月定例会の本会議、常任委員会・分科会は、右記日程での開催を予定しています。開会は午前10時の予定です。

問い合わせ
平塚市議会 議会局 ☎0463-21-8791

議会報編集委員会

- 編集委員 五十嵐豊 黒部栄三
- はた文昭 府川正明
- 議長 佐藤貴子
- 副議長 久保田聡

9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
8/23	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29
		本会議 [提案説明 など]				
8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5
				本会議 [総括質問]	本会議 [総括質問]	
9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12
	本会議 [総括質問]	本会議 [総括質問] 予算決算常任委員会		常任委員会 分科会[予算]	常任委員会 分科会[予算]	
9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19
			分科会[決算]	分科会[決算]	分科会[決算] (予備日)	
9/20	9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26
					予算決算常任委員会	
9/27	9/28	9/29	9/30	10/1	10/2	10/3
		本会議 [表決など]				